

一般質問



稲作の準備「代かき」

農業政策の方向性は



三井幹人 議員

質問 地域イントラネットやポータルサイト運営を進める機関の早期設置を。

答弁 地域\*イントラネット整備事業は認可が下りしだい作業を進めるよう準備を進めています。また、\*ポータルサイトの運営については、町民の皆さんに広く呼びかけ、主体的な情報発信運営機能を推進したいと考えています。

質問 都市計画道路「北通り線」整備に合わせ、JR富士見駅北口の開設を。

答弁 北通り線は多機能（公園、防災等）にわたる要素のある街路として計画しています。駅北口は周辺整備の基本的考えを構築した上で協議を進めてまいります。

\*イントラネット 光伝送路による地域内の情報通信ネットワーク  
\*ポータルサイト インターネットに接続した利用者が最初に立ち寄るサイト（場所）

質問 新しい米作りの具体的な方向は。

答弁 国の米政策の大転換につき認定農業者等が中心となって売れる米作りを基本とし、消費者重視・市場重視の米作りを進めます。

産地づくり交付金を効果的に活用し、地域が一体となって水田農業担い手の育成を図ってもらいたいと考えています。

「自立」への重要課題は



小林光 議員

質問 自立への見通しで、合併しなければ出来なかったことへの対応は。

答弁 合併しないことにより、財政基盤の面では効率化と経費の削減を図りながら、必要性のある事業については、基金を取り崩し、実施してまいります。行政能力の強化とサービスの向上では、職員教育の充実と、組織改革により、住民の利便性を図ります。

質問 各種委員会・審議会審査にコストパフォーマンスの導入を。

答弁 経費を削りながら多くの成果が得られるようまた、投入した経費に対し、どのような見返りがあるか、更に力を尽くしていきたいと考えています。

中長期にわたる検討では、「まちづくり係」でその拾い上げをしていく予定です。

区行政について

平出高博 議員

質問 区は行政の一部として重要と考えるが、町の認識は。補助金を増加する考えは。

答弁 区と町とは互いに助けあつてゆかねばなりません。区は独立した自治組織として活動することが原則と認識しています。

区への振興補助金は納税事務取り扱いに対して補助してききましたが、今後の増額は考えておりません。事業支援は原材料等の支給を考えています。